**指導ノート**

***取り上げる生活上の行為の事例***

（4401010）「余暇を過ごす場所や利用方法を知る」

（4401070）「適当な人からアドバイスをもらう」

（4402080）「同僚や周囲の人からの口コミ情報を得る」

（4403030）「公共施設の利用方法を尋ねる」

***教室活動の目標***

－情報を得て，余暇を楽しむ

***教室活動のねらい***

－外出や余暇の計画について人に相談できる。（活動１）

－知人の話から必要な情報を取ることができる。（活動１，活動２，活動３）

－地域の公共施設で，自分の希望を伝え，説明の内容を理解することが

できる。（活動３）

・　学習者たちは余暇をどのように過ごしているでしょうか。仕事で疲れて一日中寝たり，掃除やたまった洗濯をしたりして，自分の楽しみを持つ余裕などないかもしれません。ここでは余暇をテーマとして取り上げ，世界を広げることを提案します。

***活動前に確認しておくこと***

－休みの日などに気軽に行ける場所，観光地

－公民館や市民会館などで行われている講座や活動

－公共の施設（図書館，公民館，スポーツセンターなど）の利用方法

***準備する素材***

－地域の催しやサークル，講座などが掲載されている情報誌や広報紙など

　　　－指導者や協力者の趣味を紹介する写真や実物など

－公共の施設の案内や場所が分かる簡単な地図及び図書館カードの実物

など

***教室活動の展開の説明***

***イメージをつかむ***

**●イラスト・写真シート**

**・私の楽しみ　（p.204）**

・　イラスト・写真シートを見せる前に，学習者に休みの日はどのように過ごしているか聞いてみましょう。また，指導者や協力者も自分の休日の過ごし方を話してみるのもいいでしょう。指導者や協力者の話に合わせ，学習者からも自然に話が出てくることでしょう。

・　次に「イラスト・写真シート」（p.204）を見せて，これは何か，何をしているところか，このような経験があるかなど聞いてみましょう。また，ほかにどんなことをしたことがあるか，どんなことが好きか，どんなことをしてみたいかなど，話してもらいましょう。

＜問いかけ例＞

「休みの日は何をしますか」

「休みの日にどこに行きましたか」

「何をするのが好きですか」

「時間があったら，何をしたいですか」

***体験・行動する***

**■活動シート**

**・活動１－どこかいいところはありますか　（p.205）**

（１）　まず，始めに学習者それぞれに，休みの日にどこへ行ったことがあるか，どこが

良かったか，思い出してもらいます。学習者同士ペアになり，お互いに行ったところ，良かったところを聞き合います。公園でも外国食材の店でも何でも構いません。できるだけたくさん出してもらい，学習者同士共有するといいでしょう。

（２）　ここでは，自分の希望を伝えて，身近な日本人にお勧めのところを聞くという会話を提示しています。近くのちょっとした憩いの場所や穴場などはやはり地域の人がよく知っています。このような問いかけは，挨拶などで顔見知りになった日本人と話すきっかけにもなることでしょう。会話例を練習したあとは，指導者または協力者が近所の人役になって，学習者の希望に沿った場所を答えてあげてください。会話例では，Ａさんが「静かなところで」と希望を出していますが，学習者の希望によって，「空気のいいところ」「自然があるところ」「買い物ができるところ」など表現を変えて練習するといいでしょう。

・　少し話せる学習者同士であれば，会話例でペアワークしたあと，さらに自由に会話を続けてみるのもいいでしょう。おもしろい展開になるかもしれません。

・　この会話例では，近場を取り上げていますが，このほかにも遊園地や動物園，水族館，博物館など，また少し足を延ばして日帰り温泉旅行なども写真を見せながら紹介しておいてはいかがでしょうか。学習者から多くの発話が期待でき，また「入場料」や「入館料」「休館日」「交通費」などのことばを覚えるいい機会ともなるでしょう。

・　人を介して情報を得るほかに，地域によっては，出張所や市役所などに多言語の情報誌や，国際交流イベントなどのチラシが置いてあるところもあります。それらを実際に教室で見せても大いに役立つでしょう。また観光案内所によっては，外国人向けの多言語のパンフレットを用意しているところもあります。出張所や市役所，観光案内所などに行って，多言語の冊子やパンフレット，チラシなどをもらってくるというタスクを課し，教室で持ち寄ったものをみんなで読んでみるのも楽しいでしょう。

***体験・行動する***

**■活動シート**

**・活動２－私の好きなこと（p.206）**

（１）　学習者同士あるいは協力者も含めて，お互いに趣味，または好きなことを聞き合います。できれば，好きな理由も聞くとよいでしょう。趣味や好きなことについて話し合うことで，互いに親近感を持ち，理解が深まることでしょう。ここでは「趣味は何ですか。」「どうして○○が好きですか。」など質問できるようにしておきましょう。

（２）　このタスクでは，学習者が前もって品物や写真を準備しておきます。したがって数日前の予告が必要となります。

・　ここでは，品物あるいは写真などを見せながら，自分の好きなこと，趣味を皆に紹介します。紹介すると言っても，品物あるいは写真があるので，そんなに難しいことではありません。例えば，楽器であれば，「これは～です」「音がきれいです」など発話して，楽器を鳴らせばそれだけで聞いている方は楽しいものです。学習者の日本語レベルが高ければ，それだけ詳しい説明ができることでしょう。今，特に趣味などないというのであれば，昔好きだったこと，やっていたことでも構いません。皆に向けて発表する前に，個別に少し練習時間を取ってください。それぞれの学習者に，これがあればもっと分かりやすい，覚えておくと便利な語彙・表現を，ここで個々に覚えてもらいましょう。そして，発表時に皆で共有するとよいでしょう。実物や写真を見ることで，自分もやってみたくなるかもしれません。共感や質問など活発な発話が期待されますので，そこでも大いに日本語の語彙や表現を広げてください。

・　学習者が発表する前に，まず指導者や協力者が，自分の趣味などを，写真や実物（楽器や作品など）を見せながら，紹介してみるとよいでしょう。学習者が大いに興味を持つとともに，発表の実際が分かり，スムーズに進めることができるのではないでしょうか。また発話も大いに広がることでしょう。

***体験・行動する***

**■活動シート**

**・活動３－行ってみよう　調べてみよう　やってみよう　（p.207～208）**

・　地域には市民(区民)会館，公民館，スポーツセンター，体育館，運動場，図書館など，さまざまな公共施設があります。ここでは，それぞれの学習者が，自分が行ってみたいところに実際に足をのばし，そこでどんなことができるのかを，開館時間や閉館時刻，休館日なども含めて調べてくるタスクを提示しています。これは基本的に学習者だけで行うことを想定しています。指導者はあらかじめ，各場所の情報を調べておいてください。

・　出発前に，学習者は自分の調べたいこと，聞きたいことをあらかじめメモ（自国語でも構いません）しておくとよいでしょう。職員の人に話を切り出す，質問をする，お礼を言う，などの流れも簡単に練習しておきましょう。（開館/閉館時刻など，その場に明記してあるものは聞く必要はありません。）

以下に例を示します。

＜「話の切り出し方」の表現の例＞

「ちょっとすみません。」

＜質問の例＞

「ここにはどんなサークルがありますか。」

「ここで，どんなスポーツができますか。」

「初めてでも大丈夫ですか。」

「本は何冊借りられますか。」

＜お礼の表現の例＞

「ありがとうございました」

・　時間があれば，図書館の利用については，指導者または協力者が地域の図書館に同行して一緒に見て回るとよいでしょう。公共施設を利用する手始めとして，図書館カードを発行してもらい，本やＣＤを借りてみるということをタスクにしてはいかがでしょうか。図書館カードの発行には申込書の記入も必要です。それも含めて，そこで本が何冊借りられるか，どのくらいの期間借りられるかなど，自分でやり取りして聞いてくるというのも，自信につながるでしょう。

・　調べてきたことを発表し合い，学習者同士，情報を共有します。発表例に示した基本的な情報のほか，感想なども入れて発表してもらうといいでしょう。

・　学習者がもらってきた資料を皆で読んでみましょう。日本語で書かれた情報を読み取るのは難しいと思いますが，まず，学習者にできるだけ推測してもらい，その後で，大切な部分をピックアップして内容を取っていく作業に入ってみてください。始めはなかなか推測することも大変かもしれませんが，よく出てくる語彙や表現（漢字が読めなくても，目にするだけでも）に慣れていけば，少しずつ見当がつくようになってくるのではないでしょうか。

・　あらかじめ指導者または協力者が手に入れておいた資料（学習者に有用だと思われるもの，例えば国際交流会のチラシ，日本語教室の案内など）もここでいっしょに読み，情報提供の機会にするとよいでしょう。

・　ここでは，公共施設を実際に見て情報を取って来るということに重点を置いていますが，パソコンが準備できれば，その後で，指導者または協力者が学習者と一緒にインターネットで検索して，調べてみるのもよいでしょう。

・　学習者が行ってみたい，してみたい，始めてみたいことがあったら，背中を押してあげましょう。　そして，学習者が体験してきたら，どうだったか，ぜひ聞いてみましょう。皆で聞き合えば，互いにいい刺激になり，世界が広がることでしょう。

P.95～113「２　日本語学習の場所」「インターネットサイトの案内」

　多言語情報例

例）文化庁『日本語学習・生活ハンドブック』

　　　　　P.63～65 「２．カレンダーと年中行事」

　　　　　P.75～77　「５．国際交流協会～知る・出会う・学ぶチャンスがそこにある」

　　　　　P.79～81 「６　公共施設・公共サービス～上手に利用して，楽しく過ごそう」

***ことば・表現を知る***

**◆ことば・表現シート**

**・ことば・表現－余暇に関することば・表現（p.209）**

・　余暇に関することばは幅広く際限がないので，ここでは施設の名前，趣味の内容，余暇を利用して行ける場所，施設利用に関することばを中心に取り上げています。これ以外にも，チラシやパンフレットなどからよく使われるものは取り上げて，覚えるようにするとよいでしょう。